

# 下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和4年12月23日

## 賀茂地域局

次回の定例記者懇談会  
令和5年1月25日（水）  
午前9時30分から  
会場：賀茂キャンパス

# 目 次

## ◎重要施策発表

幼児教育アドバイザーの取組～子どもってすてき～	1
(賀茂地域教育振興センター)	

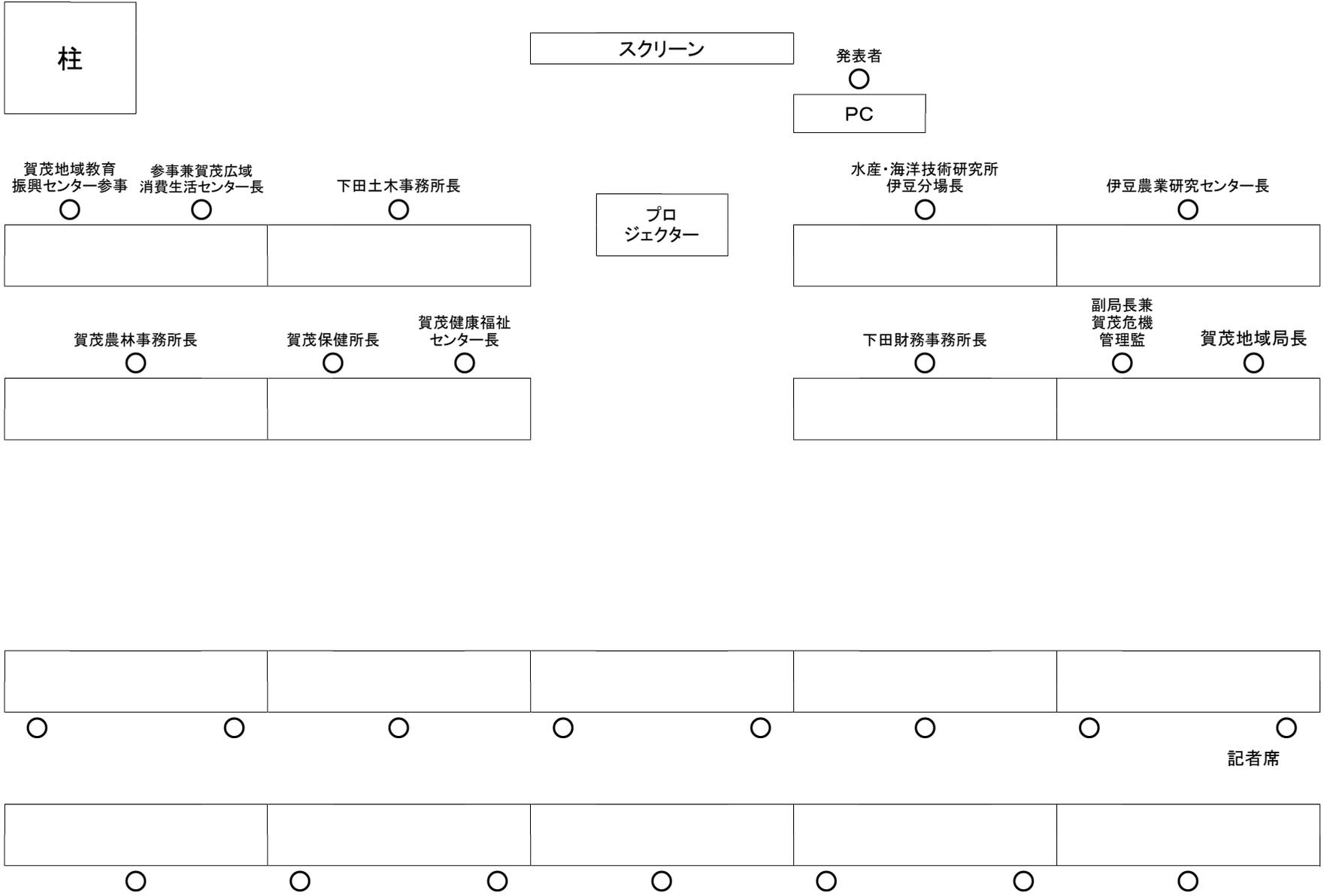
## ◎1月の行事予定

行事予定表	13
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第23回講座	15
(賀茂地域局地域課)	
子どもの防災意識向上のための動画第2弾を制作、YouTubeで公開	17
(賀茂地域局地域課)	
防災講座の開催	18
(賀茂地域局危機管理課)	
地震対策オペレーション2023（大規模図上訓練）の実施について	19
(賀茂地域局危機管理課)	
消費生活出前講座の実施（1月予定分）	20
(賀茂広域消費生活センター)	
消費者トラブルに遭わないためのネットサービス活用講座	21
(賀茂広域消費生活センター)	

## 参加者名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	やまね まさつぐ 山根 正嗣
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	下田財務事務所長	はらだ なおあき 原田 直彰
4	賀茂健康福祉センター所長	たなか ひさし 田中 尚
5	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
6	賀茂農林事務所長	やぶざき たけひこ 藪崎 武彦
7	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
8	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	すずき もとお 鈴木 基生
9	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
10	賀茂広域消費生活センター所長	まつなが としの 松永 俊乃
11	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
12	賀茂地域局次長兼地域課長	あおき かつひろ 青木 克裕
13	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

# 賀茂地域定例記者懇談会 座席表 (下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



○  
次長兼  
地域課長  
○  
参事兼  
危機管理課長  
○

出入口

記者席

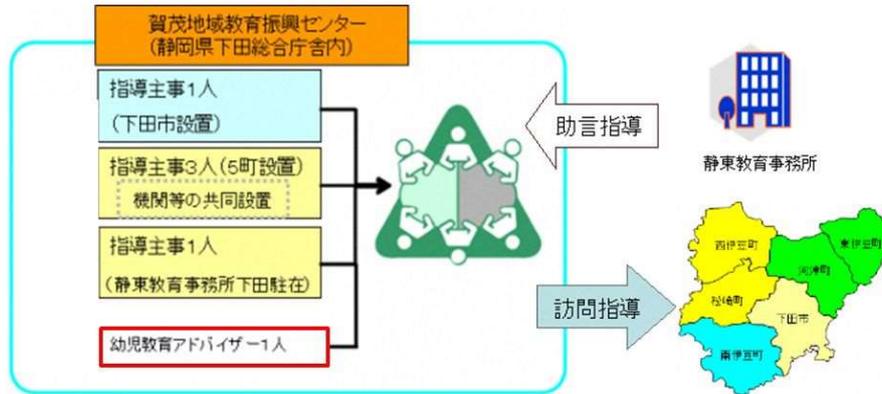


## 幼児教育アドバイザーの取組 ～子どもってすてき～

令和4年12月23日（金） 賀茂地域教育振興センター

## 幼児教育アドバイザーの配置

H29 賀茂地域教育振興センター設置（下田総合庁舎内）



賀茂地域全体の教育の質の向上のために

賀茂地域教育振興センターは平成29年度に下田総合庁舎内に開所し、5町の指導主事3名と静東教育事務所参事1名と併せて幼児教育アドバイザーが配置された。

小中学校への支援をする指導主事と幼児教育アドバイザーが教育振興センターを拠点に連携を図ることで、15年間を見通した賀茂地域全体の教育の質の向上を目指している。

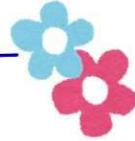
## 幼児教育アドバイザーの役割



賀茂地域幼児教育アドバイザー

**土屋 幸子 先生**

・元下田幼稚園園長  
・アドバイザー歴6年



- ①賀茂地域の公私立を問わず全ての幼児教育施設等を対象にして教育・保育の質の向上を図るために支援を行う。  
＜幼児教育施設とは、幼稚園・認定こども園・保育所（園）＞
- ②幼稚園・認定こども園・保育所（園）等の横の連携を図る。
- ③幼児教育施設と小学校の縦の連携を図り、幼保小の接続期の教育・保育における質の向上を目指す。
- ④静東教育事務所地域支援課参事、賀茂地域教育振興センターの市町指導主事と協働し、園・校を支援する。

賀茂地域幼児教育アドバイザーは元下田幼稚園園長の土屋幸子先生である。

園長を退職後、その経験を生かし、幼児教育アドバイザーに着任し、今年度で6年目となる。

幼児教育アドバイザーの役割は、

- ①賀茂地域の公私立全ての幼児教育施設等を対象にして教育・保育の質の向上を図るために支援を行う。
- ②幼稚園・認定こども園・保育所（園）等の横の連携を図る。
- ③幼児教育施設と小学校の縦の連携を図り、幼保小接続期の教育・保育における質の向上を目指す
- ④静東教育事務所地域支援課参事、賀茂地域教育振興センターの市町指導主事と協働し、園・校を支援する。  
ということである。

## 幼児教育アドバイザーの取組

幼児教育施設の訪問（15園） 年1回

### 保育参観



#### 〈参観の視点〉

- ・子どもの興味関心をとらえた保育が展開されているか
- ・子どもたちが、自分の思いを出しながら遊びや活動に取り組んでいるか

### 参観後の研修



#### 〈指導・助言のポイント〉

- ・指導案から先生方の思いを読み取る
- ・遊びの中の学びをとらえる
- ・教育要領を踏まえ、実践について、具体的に助言する

幼児教育アドバイザーの主な取組の一つ目は、賀茂地域全ての幼児教育施設15園へ訪問し、保育参観と研修を行うことである。

保育参観は、先生方が子どもの興味関心をとらえた保育を展開し、その環境の中で、子どもたちが自分の思いを出しながら遊びや活動に取り組んでいるかという視点を大事にしている。

研修では、「指導案から先生方がどのような保育をしたいと考えているかという思いを読み取ること」、「実際の保育を見て、遊びの中の学びをとらえること」、「教育要領を踏まえながら、先生方に保育のよさや改善点を具体的に助言すること」を心掛けている。

## 幼児教育アドバイザーの取組

**小学校1年生訪問（19校） 5月～7月**

**〈訪問の視点〉**

- ・園で育まれたよさが小学校でどのように発揮されているか
- ・1年生が安心して学校生活を送るためにどのような工夫をされているか

校長先生との懇談



入学当初の1年生の様子について教えてください。

授業参観



1年生担任との懇談



子供のよさと可能性について教えてください。

主な取組の二つ目は、賀茂地域19校全ての小学校への訪問である。

目的は、入学して間もない子どもたちがどのように学校生活を送っているかを見るためであり、毎年5月～7月に訪問している。

訪問の視点は、園で育まれたよさが小学校でどのように発揮されているか、1年生が安心して学校生活を送るためにどのような工夫をされているかである。

授業参観後は、校長先生や1年生担任との懇談を行っている。

校長先生からは、学校全体としての取組や幼稚園と小学校との連携についてうかがい、1年生担任との懇談では、子どものよさと可能性や、幼児教育で育まれた資質・能力との関連を意識してもらえらるような話合いをしている。

## 幼児教育アドバイザーの取組

### 幼児教育施設・小学校 要請訪問

#### ニーズに応じた研修

- 〈テーマもさまざま〉
- 先生方向け
    - ・幼稚園教育要領等の内容
    - ・国の動向と県の方向性
    - ・地域内の幼小連携
    - ・キャリアステージに応じた研修
    - ・教師に求められる専門性や資質能力
    - ・小学校教育を見通した  
接続期のカリキュラム など
  - 保護者向け
    - ・小学校での親学講座
    - ・家庭教育との連携
    - ・子育ての悩みについて など

#### 市町幼保小接続推進委員会



#### 保護者講話



各幼児教育施設、小学校の依頼に応じる要請訪問も行っている。

今年度は、すでに40回以上の要請に応じている。

要請訪問は、それぞれの施設からのニーズに対応しているため、研修テーマもさまざまである。

先生方に向けての研修では、保育実践への助言だけではなく、国の動向と県の方向性、地域内の幼小連携の様子などの講義などを行っている。

また、保護者に向けて小学校入学前の親の心構えを話したり、幼児教育と家庭教育との連携について講演したりしている。



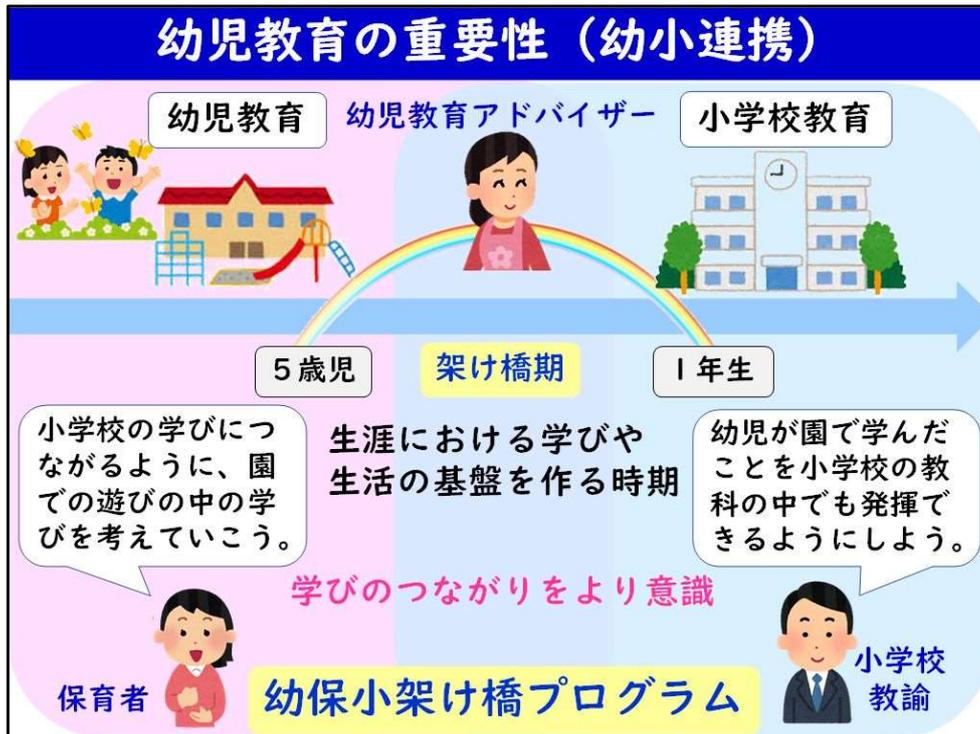
この写真は、5歳児の砂場遊びの様子である。

子どもたちは、5歳ともなると、一人では作れない大きな山を作ったり、水道管を使って水を流したり、水路やダムを作ったりと遊びを工夫していく。

この遊びを通して、子どもたちはたくさんのことを学んでいる。

子どもが興味関心をもった遊びに夢中になって取り組む体験は、好奇心や探求心、互いのよさを認め合う心、諦めないで最後まで取り組む粘り強さといった学びに向かう力の育成につながり小学校での学びの基礎につながっていくと考えられる。

まさしく、遊びの中には学びがたくさんあり、今、この遊びの中の学びの重要性が見直されている。



幼児教育と小学校教育の接続については、これまでも大事にされてきたが、令和4年度からは文部科学省より幼保小架け橋プログラムの推進が求められている。

幼保小の架け橋プログラムとは、5歳児から小学校1年生の2年間で架け橋期とし、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期と考え、学びのつながりをより意識していこうというものである。

幼児教育施設の遊びの中で育まれた力が、小学校教育の中でより発揮されることが望まれている。

そのつなぎ役として、幼児教育アドバイザーの存在は欠かせないものとなっている。

## 幼児教育の重要性（幼小連携）

### 賀茂地区幼小連携推進研修会

- ・幼児教育と小学校教育の比較をしてみましょう。
- ・賀茂地域には、すてきな実践事例がたくさんあります。
- ・賀茂地域の幼小接続の状況を確認しましょう。



講義



グループ演習

- 〈一つの事例から遊びの中の学びをとらえる〉
- ・子どもの思いは、どんどん広がるんですね。
  - ・先生の手を借りなくても、幼児自身が考えて、解決したり楽しんだりしているね。

賀茂地域では、先ほどの巡回訪問や要請訪問だけでなく、毎年、15園の幼児教育施設の保育者、19校の小学校教員が集まり賀茂地域全体で幼小連携推進研修会を行っている。

幼児教育アドバイザーが講師を務め、今年度は「幼小の円滑な接続を目指して」をテーマに講義を行った。

また、グループ演習では、遊びの中の学びを見取り、語り合うことを目的として活発な意見交流ができた。

静岡県の幼児教育推進室の指導主事がこの研修会に参加し、賀茂地域の先生方の幼小連携への意識の高さは幼児教育アドバイザーの取組によるところが大きいと高く評価してくださった。

## 先生方からの声

保育者



(保育参観) 子どもの姿を細かく追って価値づけていただけたことで、改めて活動内の子どもたちの姿を知ることができ、教師の援助等、とても勉強になりました。改めて研修の大切さ、ありがたさを感じました。

(園長・教頭・主任研修) 幸子先生のように、人としての思いやりや温かさを持ち、語りかけ、寄り添い、話しかけて導いてくださる安心感を私も目指しながら、子どもや先生たち、保護者や地域の方々と共に生き生きと笑顔のあふれる園を作っていきたい。



幼稚園園長

小学校校長



(保護者講話) 幼児教育の専門家としての視点で、こども園から小学校生活へのスムーズな接続のために大切なことを示していただいた。こども園での学びが小学校での学習につながっていることを具体的に知る機会となった。

園や小学校に寄り添った研修が先生方のやる気につながっています。それが、すてきな教育・保育に、そして、子どもたちの笑顔や夢中になって遊ぶ姿となって表れています。

幼児教育アドバイザーが幼児教育施設や小学校に関わって6年目となる。

アドバイザーの関わりについて、

保育者からは、「子どもたちの具体的な姿や援助の仕方を学ぶことができ、改めて研修の大切さやありがたさが分かった」、幼稚園の園長先生からは、「幼児教育アドバイザーの温かく安心感のある人柄に触れ、自分も子どもや園に関わる大人とそのように接していきたい」、小学校の校長先生からは、「幼児教育の専門家としての視点でスムーズな接続のために大切なことを示していただいた。」などという感想をもらっている。

園や小学校に寄り添った研修が先生方のやる気につながっていることがわかる。

それが、すてきな教育・保育に、そして、子どもたちの笑顔や夢中になって遊ぶ姿となって表れている。

## 今後に向けて（幼児教育アドバイザー）

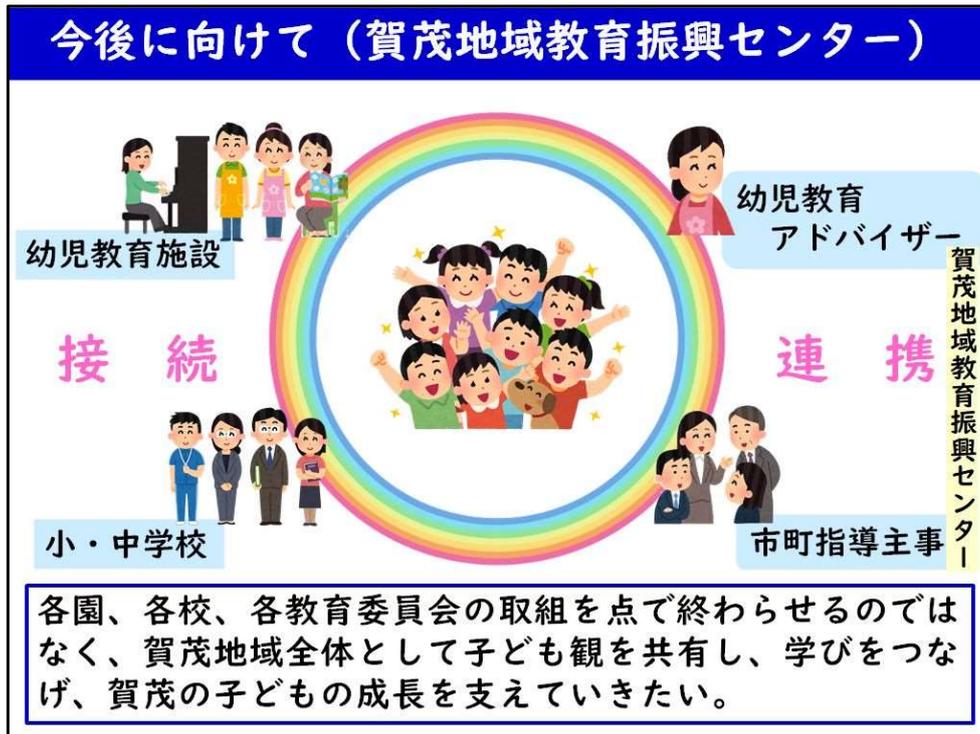


土屋幸子 幼児教育  
アドバイザー



- ✿日々の保育、自らのキャリアステージに応じた研修等を通して、理論と実践を往還しながら、**学び続ける教師を支える。**
- ✿幼保小架け橋プログラムの理念の周知と理解を深めるため、**地域の状況に応じた円滑な接続の推進に携わる。**
- ✿質の高い幼児教育を目指し、**保育実践や園内研修の充実を図る。**

今後に向けて、幼児教育アドバイザーは、「日々の保育、自らのキャリアステージに応じた研修等を通して、理論と実践を往還しながら、学び続ける教師を支える。」「幼保小架け橋プログラムの理念の周知と理解を深めるため、地域の状況に応じた円滑な接続の推進に携わる。」「質の高い幼児教育を目指し、保育実践や園内研修の充実を図る。」ことに力を入れていきたいと考えている。



賀茂地域教育振興センターとしては、幼児教育アドバイザーと市町の指導主事が連携しながら、各園、各校、各教育委員会の取組を点で終わらせるのではなく、賀茂地域全体として子ども観を共有し、学びをつなげ、賀茂の子どもの成長を支えていきたい。

## 行事予定表（令和5年1月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	日					
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水	防災講座（わかば保育園） 10:00～10:50わかば保育園				
12	木	防災講座（熱川中学校） 13:00～15:25 熱川中学校				
13	金					
14	土					
15	日					
16	月					
17	火	大規模図上訓練 （賀茂地域局） 8:30～12:00 賀茂地域局				
18	水					
19	木					
20	金	賀茂キャンパス活用プログラム 「静岡県立大学 社会人講座」 第23回講座 13:30～15:00 賀茂キャンパス				
21	土					
22	日					
23	月					
24	火	防災講座 （南伊豆認定子ども園） 10:00～11:30 南伊豆認定子ども園				
25	水	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	木	防災講座（南上小学校） 13:25～14:10 南上小学校				
27	金	防災講座（大賀茂小学校） 10:35～12:15 大賀茂小学校				
28	土					
29	日					
30	月					
31	火	防災講座（南伊豆町地域子育て 支援センター） 10:00～11:30 南伊豆町地域子育て支援センター				

## 行事予定表（令和5年1月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	日					
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水			10:00～11:00 二条老人会出前講座		
12	木					
13	金					
14	土					
15	日					
16	月			13:00～15:00 特別法律相談		
17	火					
18	水					
19	木					
20	金					
21	土					
22	日					
23	月					
24	火					
25	水					
26	木					
27	金					
28	土					
29	日					
30	月					
31	火			AM下田市 PM南伊豆町 シニア向けスマホ講座		

令和4年12月23日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第23回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第23回講座を令和5年1月20日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

(概要)

日時	第23回 令和5年1月20日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学経営情報学部 大久保 あかね 教授 『賀茂地区の温泉地、それぞれの魅力を探る』
対象	県民(定員48人)
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

※新型コロナウイルス感染症対策(3密の防止、出席者のマスク着用、検温、手指消毒、演台のシールド設置等)に十分留意した上で実施します。

※当日受付にて検温を実施しますが、2週間以内に37.5度以上の発熱があった場合は出席をお控え願います。

※感染拡大の状況によっては、開催を延期又は中止とする場合があります。

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

# 賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター  
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2023年 第23回 (毎月1回開講します)

1月20日(金) 13:30-15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス (下田市中531-1)

## 賀茂地区の温泉地、それぞれの魅力を探る

講師：大久保あかね



静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科  
経営情報学部 観光マネジメントメジャー 教授

名古屋生まれ、奈良女子大学卒業後、㈱リクルート入社、  
1994年に熱海に転居、じゃらんの観光担当を務めながら、  
立教大学大学院観光学研究科で学位取得。  
2006年から富士常葉大学等を経て、2019年より現職。

伊豆半島で湧出する源泉は、なんと2,270泉(賀茂地区622泉、熱海伊東地区1,222泉、  
東部地区426泉)。その豊かな温泉資源を観光客の皆さんはどのように楽しんで来たの  
でしょうか。伊豆半島の温泉地について、心に残っている旅の思い出を掘り起こす消費  
者調査を実施しました。

それぞれの温泉地で、観光客の皆さんがどんな思い出を紡いできたのか？経済効果  
だけでは測れない温泉地の魅力について、皆さんと考えてみたいと思います。

働きながら学べる最新の観光情報。広く観光関連事業に携  
わっている方は是非ご試聴下さい。無料で参加できます。

メールもしくはQRコードから  
お申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属  
ツーリズム研究センター

Mail: [trc@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:trc@u-shizuoka-ken.ac.jp)



## 子どもの防災意識向上のための動画第2弾を制作、YouTubeで公開

(賀茂地域局)

### 1 概要

静岡県は県職員自身がユーチューバーとなり、県の魅力や静岡県庁の仕事を紹介する「ふじのくに静岡県庁チャンネル」(※1)を運営しています。

賀茂地域局では、9月に子どもの防災意識向上を目的とした動画を制作し、YouTubeにて公開しましたが、今回第2弾の動画を制作し、12月5日にYouTubeにて公開しました。

### 2 動画について

タイトル	【ぼうさいD u c k (※2)をやってみよう！第2弾！】 リズムにのって、カードに応じたポーズを決めろ！
出演者	賀茂地域局職員
内容	県職員が軽快な音楽にのって、『ぼうさいD u c k』を実際に行う。
公開先	ふじのくにメディアチャンネル (静岡県庁公式)  <a href="https://youtu.be/uUoXZw1L7Sg">https://youtu.be/uUoXZw1L7Sg</a>
参考	第1弾もふじのくにメディアチャンネル (静岡県庁公式)にて公開中。  <a href="https://youtu.be/VlEiawli3mc">https://youtu.be/VlEiawli3mc</a>

#### ※1 ふじのくに静岡県庁チャンネル

静岡県が運営する公式YouTubeチャンネル「ふじのくにメディアチャンネル」内の動画再生リストの一つ。

#### ※2 ぼうさいD u c k

一般社団法人日本損害保険協会が制作したカード型の幼児向け防災知育玩具。

担当 地域課 前田

電話 0558-24-2204

メール kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

## 防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
1月11日(水) 10:00~10:50	わかば保育園(河津町)	全園児	地震体験	
1月12日(木) 13:00~15:25	熱川中学校(東伊豆町)	1~3年生	訓練視察、HUG	
1月24日(火) 10:00~11:30	南伊豆認定こども園 (南伊豆町)	4歳児	地震体験 防災ダック	
1月26日(木) 13:25~14:10	南上小学校(南伊豆町)	5・6年生	講話	
1月27日(金) 10:35~12:15	大賀茂小学校(下田市)	1~6年生	未定	
1月31日(火) 10:00~11:30	南伊豆町地域子育て支 援センター(南伊豆町)	未就園児 保護者	地震体験 HUG	

(計 6回)

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止又は延期の可能性があります。

(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 森（連絡先：0558-24-2004）

定例記者懇談会資料

地震対策オペレーション2023（大規模図上訓練）の実施について

（賀茂地域局）

（目 的）

令和4年度総合防災訓練（本部運営訓練）を踏まえ、大規模地震が発生した場合を想定した本部運営訓練（図上訓練）を実施する。

県が実施する災害応急対策の習熟・検証を図るとともに、国、市町及び防災関係機関との連携を一層強化する。

（概 要）

- 1 訓練日時 令和5年1月17日（火） 午前8：30～12：00（県下一斉）
- 2 訓練参加者 静岡県、賀茂管内市町、陸上自衛隊、下田海上保安部、  
（予 定） 下田消防本部、沼津河川国道事務所、  
東京電力パワーグリッド(株)、(一社)下田建設業協会
- 3 訓練会場 賀茂危機管理庁舎3階 賀茂方面本部室
- 4 図上訓練スケジュール  
午前8：30～ 訓練開始（発災後24時間経過時点を想定）  
＜賀茂方面本部員会議、応援部隊との対策調整 等＞  
午前11：45～ 賀茂方面本部長講評（12：00 訓練終了）
- 5 訓練重点項目
  - （1）「南海トラフ地震における静岡県広域受援計画」を踏まえた点検
  - （2）要請情報等の的確な収集及び伝達
  - （3）賀茂方面本部運営における検証
- 6 訓練想定
  - ・1月16日（月）午前8時30分頃、南海トラフ沿いで巨大地震が発生。（県内では震度7～6弱を観測）
  - ・建物倒壊や火災等の発生。大津波襲来により沿岸部で著しい被害。
- 7 その他
  - ・中止することが必要と判断される事象が生じた場合は訓練を中止します。
  - ・訓練中の職員に対する取材は御遠慮願います。

担 当：危機管理課  
連絡先：0558-24-2004

令和4年12月23日

定例記者懇談会資料

消費生活出前講座の実施（1月予定分）

（賀茂広域消費生活センター）

（主旨）

賀茂広域消費生活センターでは、消費者被害の未然防止を図るため、悪質商法に関する知識やその対処法についての講座や、SDGsの達成のため消費者ができる消費行動のひとつであるエシカル消費※の普及の講座等を通年で実施しています。1月の出前講座の予定は下記のとおりです。

日 時	会 場	講座内容	対象者等
1月11日（水） 10：00～11：00	南伊豆町二条 コミュニティ センター	「知って防ごう消費者ト ラブル！」  賀茂地域に多い相談と消 費者被害の未然防止	高齢者 (20人程度)

※ エシカル消費

「エシカル」とは、「倫理的な」とか「道徳的な」という意味。

人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することです。

例) 森林保全につながる製品を選ぶ、フェアトレード商品を買う、地元の商店で買い物をする

担 当： 賀茂広域消費生活センター

連絡先： 0558-24-2206 松 永

令和4年12月23日

定例記者懇談会資料

## 消費者トラブルに遭わないためのネットサービス活用講座

(県民生活課・賀茂広域消費生活センター)

### 1 要 旨

スマホを使ったネットサービスは便利で生活に欠かせないものになりました。一方で、消費者被害も増えています。被害に遭わないために、ネットショッピングやアプリの使い方、課金サービス等ネットサービスの活用方法を学ぶ講座を開催します。

### 2 講座内容

日時	①令和5年1月31日(火) 10:00～11:30 ②令和5年1月31日(火) 13:30～15:00
会場	①下田市朝日公民館(下田市吉佐美 883-1) ②湊区コミュニティーセンター(南伊豆町湊 619-1)
内容	・インターネットショッピングの楽しみ方・気をつけるポイント ・キャッシュレス決済 ・有料アプリの利用方法 ・消費者トラブルに遭わないために ・受講後も活用できる怪しいサイトチェック表

### 3 申込み

各会場20名(参加無料・事前予約制・当日会場申込み可)

申込先:株式会社東海道シグマ(0120-034-036)

QRコード、メール等 別紙参照

担当 賀茂広域消費生活センター 松永

電話 0558-24-2206